

平成23年度兵庫県公立高等学校入学者選抜における複数志願選抜及び特色選抜の 検証結果について(概要)

兵庫県教育委員会では、個性を尊重する多様で柔軟な高等学校教育を目指し、県立高等学校教育改革第一次実施計画及び同第二次実施計画に従って、新しいタイプの学校の設置をはじめ、学びたいことが学べる魅力ある学校づくりを推進している。

また、特色ある学校づくりと併せ、入学者選抜制度においても、単独選抜と総合選抜の長所を取り入れた複数志願選抜と、各学校が特色ある教育内容に即して生徒の多様な個性や優れた点等を評価する特色選抜を導入してきた。この新しい選抜制度は、過度の受験競争や学校間の序列を緩和し、生徒がそれぞれの学校の特色や自分の適性・進路希望等に応じて、「学びたいことが学べる」学校を選択できることを目的としている。

複数志願選抜については県下16学区中12学区に導入し、また特色選抜については全県16学区に導入したこととなる。

今後ますます、生徒が「学びたいことが学べる」学校を選択できるよう、各学校の特色化をさらに推進するとともに、新しい選抜制度の理念の啓発に努めながら、制度を充実・定着させていきたい。

1. 検証の対象学区（平成23年度複数志願選抜及び特色選抜の実施学区）

神戸第三（H15）、姫路・福崎（H17）、加印（H18）、北播（H19）、尼崎（H20）、明石（H20）、西宮（H21）、伊丹（H21）、神戸第一・芦屋（H22）、神戸第二（H22）、宝塚（H22）、西播（H23）

（ ）は導入年度

丹有、北但、南但及び淡路学区は、H23より特色選抜のみ導入

2. 検証方法

（1）志願状況・合格状況等のデータの分析（複数志願選抜導入 全12学区）

（2）新入生、保護者、中学校及び高等学校へのアンケートの分析（複数志願選抜H21以降導入 6学区）

3. 検証結果の概要

（1）志願状況・合格状況等のデータの分析

（ア）・第1志望校に合格した割合 12学区中8学区で90%を超えている（全学区平均は約92%）

・第1志望校及び第2志望校に合格した割合 全学区平均は約99%

第1志望及び第2志望でほぼ99%が合格しており、複数志願選抜の趣旨を生かし、生徒がそれぞれの学校の特色や自分の適性・進路希望等に応じて、「学びたいことが学べる」学校を選択できている。

| 学区名 | 神戸第三 | 姫路・福崎 | 加印 | 北播 | 尼崎 | 明石 | 西宮 | 伊丹 | 神戸第一・芦屋 | 神戸第二 | 宝塚 | 西播 | 全学区平均 |
|--------------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|---------|-------|-------|-------|-------|
| 第1志望校に合格した割合 | 90.7% | 92.3% | 89.5% | 92.7% | 94.0% | 88.3% | 85.1% | 93.7% | 95.7% | 90.9% | 86.5% | 98.2% | 91.5% |
| 第2志望校に合格した割合 | 9.1% | 7.4% | 9.9% | 7.3% | 3.0% | 10.5% | 13.2% | 6.1% | 4.1% | 8.7% | 12.4% | 1.8% | 7.8% |
| その他校に合格した割合 | 0.2% | 0.2% | 0.6% | 0.0% | 3.0% | 1.2% | 1.6% | 0.2% | 0.1% | 0.4% | 1.1% | 0.0% | 0.7% |

（イ）第2志望校・その他校への入学を希望する割合

第2志望校を希望する者や、第1、第2志望校以外（その他校）の学校を希望する者の割合は、総合選抜から移行した学区に比べ、単独選抜から移行した学区では低い傾向にある。しかし、実施を重ねるごとに単独選抜から移行した学区でも第2志望校を記入する割合が増加しており、複数志願選抜についての理解が進んでいる。一方、複数志願対象校の少ない学区や広域に学校が点在する学区などでは、選択肢が限られ、第2志望校等を記入する割合が低い状況がある。

| 元の選抜制度 | 総合選抜 | | | | | 単独選抜 | | | | | | | |
|--------------|------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|---------|-------|-------|
| | 学区名 | 尼崎 | 明石 | 西宮 | 伊丹 | 宝塚 | 神戸第三 | 姫路・福崎 | 加印 | 北播 | 神戸第一・芦屋 | 神戸第二 | 西播 |
| 第2志望校を記入する割合 | | 95.0% | 95.7% | 80.6% | 87.1% | 85.9% | 76.6% | 70.1% | 81.0% | 68.5% | 49.6% | 60.8% | 64.8% |
| その他校希望ありの割合 | | 75.1% | 89.5% | 52.8% | 51.2% | 64.5% | 27.5% | 1.4% | 18.7% | 7.4% | 2.6% | 15.3% | 7.3% |

第2志望校を記入する割合（単独選抜から移行した学区）

| 学区名 | 神戸第三 | 姫路・福崎 | 加印 | 北播 | 神戸第一・芦屋 | 神戸第二 |
|----------|-------|-------|-------|-------|---------|-------|
| 導入初年度の割合 | 63.5% | 62.7% | 71.5% | 63.0% | 43.9% | 45.1% |
| H23年度の割合 | 76.6% | 70.1% | 81.0% | 68.5% | 49.6% | 60.8% |
| 増加率 | 13.1% | 7.4% | 9.5% | 5.5% | 5.7% | 15.7% |

(2) 新入生、保護者、中学校及び高等学校へのアンケートの分析

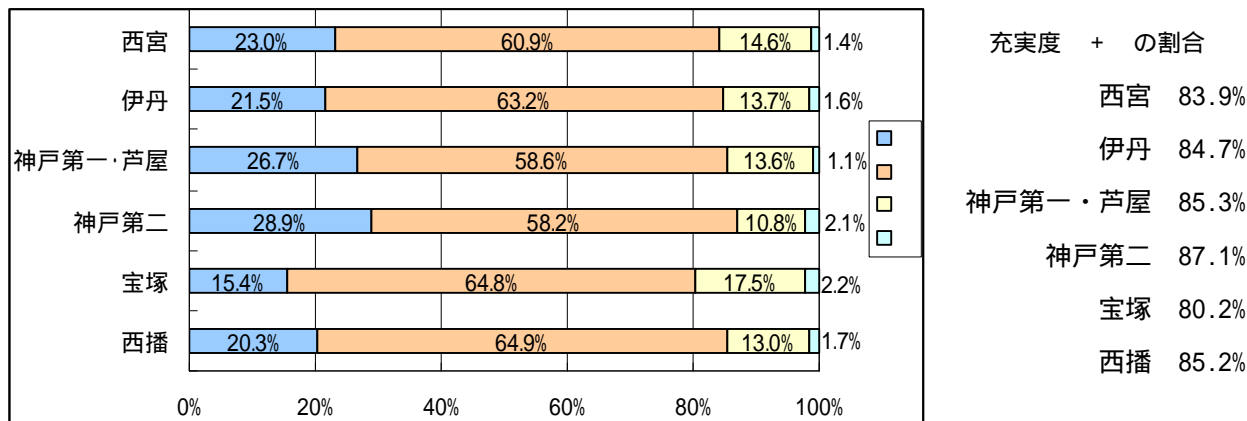
(ア) 高校生活の充実度 約80～87%の新入生が「充実している」と回答

それぞれの学校の特色や自分の適性・進路希望等に応じて、「学びたいことが学べる」学校を選択した結果、8割以上の生徒が充実した高校生活を送っている。

(問) 現在充実した高校生活を送っていますか。【高校新入生回答】

大変充実している 充実している あまり充実していない 全く充実していない

(結果)



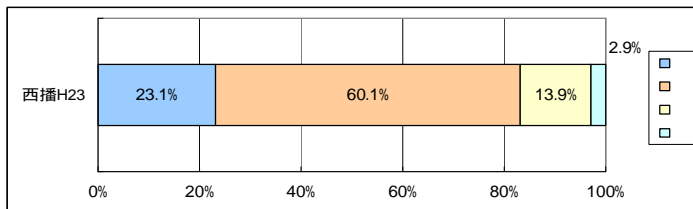
(イ) 複数志願選抜の理解度 新たに導入した西播学区では83%以上の新入生が「理解していた」と回答

大半の生徒が、複数志願選抜の趣旨を十分理解した上で、志望校選択することができているが、引き続き複数志願選抜制度の理念の啓発に努めながら、制度の充実・定着を図る必要がある。

(問) 複数志願選抜の内容について理解していましたか。【高校新入生回答】

よく理解していた だいたい理解していた あまり理解していなかった 全く理解していなかった

(結果)



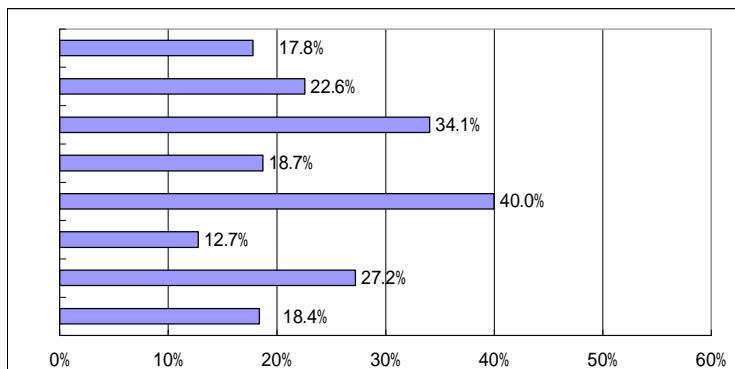
(ウ) 複数志願選抜における第1志望校の決め手 目的意識をもった学校選択が行われている

アンケート対象校全体における第1志望校の決め手として「校風・学校の雰囲気」や「大学等への進学や就職の状況」を選ぶ割合が高いが、個々の学校においては学校の特色によって決め手が異なっており、生徒がそれぞれの学校の魅力、目的意識を持って学校を選択している。(本冊子p47～p52参照)

(問) 第1志望校の決め手となった理由は何ですか。(複数回答可)【高校新入生回答】

特色ある学習内容 学校行事・特別活動 大学等への進学や就職の状況
部活動 校風・学校の雰囲気 兄弟・親戚が通学している(していた)
通学時間 その他

(結果)



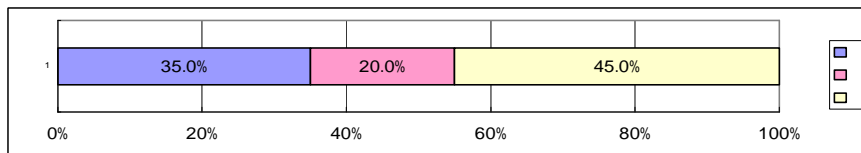
(エ) 特色選抜で入学した生徒 学校生活に積極的で学校の活性化に貢献

学校の特色化を推進する核となる生徒の育成が図られている一方で、複数志願選抜で入学した生徒と学習内容や学校生活の取り組みに違いがないという意見もあり、今後一層、特色選抜の趣旨を浸透させる必要がある。

(問) 特色選抜で入学した生徒について、複数志願選抜で入学した生徒と比較して学習や学校生活の取り組みに違いはありますか。【高等学校長回答】

違いがある やや違いがある 変わらない

(結果)



- ・ と記入したほとんどの学校で、具体的コメントでは学習や学校生活に積極的と回答している。
- ・ 将来の目標を持った生徒が多く、学校生活にも意欲的である。
- ・ やる気に満ちあふれ、あらゆることに対して積極的であり、生徒の中にも強い自負心が感じられる。

(オ) 既導入学区における入学直後から卒業前における充実度の比較

(平成22年度卒業生 調査はH20.5月及びH23.1月に実施)

複数志願選抜入学者・特色選抜入学者とも、入学直後及び卒業前における充実度(大変充実している、充実しているの計)は、いずれの学区においても90%前後で推移している。

複数志願選抜入学者については、多くの学区において、入学直後より卒業前の方が充実感を持つ割合が増加しており、生徒がそれぞれの学校の特色や自分の適性・進路希望等に応じて進学し、充実した高校生活を送っている。

しかし、各学校毎で実施している特色選抜入学者については、入学直後より卒業前の方において充実度が減少している学校も一部あることから、特色類型における特色・学習内容の理解・啓発及び一層の学びの充実が必要である。

【複数志願選抜入学者】

| | 複数志願選抜入学者 | | | | | | | | | |
|------------|-----------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|
| | 姫路・福崎 | | 加印 | | 北播 | | 尼崎 | | 明石 | |
| | 入学直後 | 卒業前 | 入学直後 | 卒業前 | 入学直後 | 卒業前 | 入学直後 | 卒業前 | 入学直後 | 卒業前 |
| 大変充実している | 27.9% | 34.8% | 28.0% | 32.1% | 25.8% | 28.5% | 27.3% | 25.1% | 30.2% | 35.2% |
| 充実している | 61.9% | 54.7% | 60.2% | 54.8% | 62.2% | 61.9% | 60.4% | 63.6% | 59.6% | 55.6% |
| あまり充実していない | 10.1% | 10.5% | 11.7% | 13.1% | 11.8% | 9.5% | 12.3% | 11.3% | 10.1% | 9.2% |

【特色選抜入学者】

| | 特色選抜入学者 | | | | | | | | | |
|------------|---------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|
| | 姫路・福崎 | | 加印 | | 北播 | | 尼崎 | | 明石 | |
| | 入学直後 | 卒業前 | 入学直後 | 卒業前 | 入学直後 | 卒業前 | 入学直後 | 卒業前 | 入学直後 | 卒業前 |
| 大変充実している | 34.6% | 30.6% | 38.6% | 33.8% | 39.1% | 29.0% | 42.2% | 45.3% | 46.8% | 50.0% |
| 充実している | 57.7% | 58.7% | 53.6% | 56.3% | 52.2% | 66.7% | 51.7% | 45.3% | 45.6% | 48.7% |
| あまり充実していない | 7.7% | 10.7% | 7.8% | 9.9% | 8.7% | 4.3% | 6.1% | 9.4% | 7.6% | 1.3% |

(3) 今後の課題

高等学校及び中学校へのアンケートの中で、改善すべき事項について自由記述を求めたところ、主に次のような意見が出された。

複数志願選抜の志願方法について

【高等学校長回答】

- ・ その他校希望の意味をより理解するための指導を十分にしたい。

【中学校長回答】

- ・ わかりやすいパンフレットが必要。現行のパンフレットは選抜の意味や方針ばかりが強調されており、方法の説明に工夫が必要である。

複数志願選抜の実施対象校について

【高等学校長・中学校長回答】

- ・ 学校数が少なく複数志願選抜の趣旨に合わない。学区の統合・再編が必要である。

【中学校長回答】

- ・ 単位制高校や総合学科も複数志願選抜の実施対象校に含めて欲しい。

複数志願選抜の第1志望加算点について

【高等学校長・中学校長回答】

- ・ 第1志望加算点が妥当かどうかの検証が必要である。
- ・ 複数志願選抜を実施しない高校から複数志願選抜を実施する高校に志願変更した時の第1志望加算点は必要ない。

複数志願選抜の管理委員会について

【高等学校長回答】

- ・ 小規模な学校が管理委員会を運営することは、職員への負担が大きい。

【中学校長回答】

- ・ 選抜に関する書類について、記載方法を全県で統一して欲しい。

特色選抜について

【高等学校長・中学校長回答】

- ・ 中学校での基礎的な学力をみるために、適性検査の導入を検討して欲しい。

【中学校長回答】

- ・ 特色が分かりにくい。入学後のクラス編成など、具体的な教育内容をもっと伝えて欲しい。

入学者選抜の日程について

【高等学校長回答】

- ・ 学力検査を月曜日に実施することは、準備や安全面により避けて欲しい。

【中学校長回答】

- ・ 中学校の卒業後に実施して欲しい。

その他

【中学校長回答】

- ・ 生徒のニーズにあった各高校の一層の特色化を望む。

また、保護者へのアンケートにおける自由意見では、生徒が学びたい学校をチャレンジできることなど制度を評価する意見が多く出された一方で、次のような課題となる意見も出された。

- ・ 入学者選抜制度が複雑で分かりにくい。
- ・ 合格発表の仕方。ホームページなどで可否の確認ができる方法も検討願いたい。
- ・ 学校数、選択肢が少ないので、選択肢を増やして欲しい。